

“防災”提案事業推進委員会（第2回）まとめ

- 1：日時 平成25年1月23日（水）午後7時から8時30分
 2：ところ 西成公民館 小会議室
 3：メンバー 安藤久雄（赤見） 岸 正武（浅野） 高橋宏幸（浅野）
 関戸 進（西成） 浅井孝行（赤見） 中根建夫（浅野）
 米田和浩（瀬部） 杉村所長 江口英機（浅野）
 = 出席

4：協議事項（1）

25年度事業について～地域防災力アップ事業～

（ア） 防災講演会 「大災害時の向こう三軒両隣～近助～」

防災システム研究所長 山村 武彦 氏

（経過）

前回 講師 市民会館 地域状況から7月下旬に開催ということで市民会館の空き状況を確認したが、

*平成25年7月は参議院選挙予定 公民館 七夕まつり等実施困難

*市民会館の申し込み・許可

- ・1年前に申し込みか ・仮押さえできても2～3日後に申し込み
- （使用料の払い込み） 平成25年事業ゆえ4月以降か

年末に危機管理課から電話があり、講師山村さんは平成25年11月15日（金）に、やはり市民会館で自主防災講演会で開催との事

どうするか協議

- * 11月の山村氏の講演を教材化して各校区・町内で活用する
- * 阪神大震災の語り部等別の講師を招く

結論

ア) 自主防災講演会に西成連区から300～500名参加できれば所期の目的を達成できる。

イ) 山村講師・危機管理課の了解のもと30万円以内の範囲で教材化等ができればそれに流用

ウ) 不能であれば、4月に減額申請し、次年度事業に上乘せできるかどうか早急に確認

ア)イ)ウ)について市（危機管理課・地域ふれあい課）確認すること

（イ） 市などの開催する防災に関連する各種研修会・講演会等への参加促進策

1) 簡易防災備蓄機材取扱い訓練の実施

実施時期 平成25年 月 日（日）

公民館・西成東部中学校の都合いい日曜日

対象 町会長など自主防災会のメンバー

各町内2名×55 110名

地域づくり協議会【安心安全】 10名 合計120名

実施内容 備蓄機材取扱い訓練（西成東部中学校）60分
 仮設トイレ5 発電機2 コードリール3 投光器5の取
 り扱い訓練
 防災教室（80分）公民館
 地震に関する研修と避難所開設に伴う注意事項

その他 実施日の決定と内容の打ち合わせ
 中学校 公民館の申し込み
 仮設トイレ訓練で破損の場合の対応（予算措置は？）
 飲料水@100×120名 12,000円の対応

2) 自主防災講演会

*日時 平成25年11月15日(金)午後 市民会館（1500名）
 講師 山村武彦さん

*対象 町会長はじめ町内会世帯数に応じて聴講していただくように
 啓発する

瀬部	2,770世帯	3%	80名	2%	55名
西成	2,423世帯		120名		48名
西成東	1,838世帯		90名		36名
赤見	1,412世帯		70名		28名
浅野	3,225世帯		160名		64名
総計	11,668世帯		520名		231名

*参加表 当日、参加表を提出（西成地域づくり協議会の箱に）

*その他 どのくらい 受講可能か危機管理室に確認

3) 自主防災リーダー研修会への参加

2日間の研修 各小学校校区から2名以上参加を要請する
 本年度から参加（5名）

4) 日赤の炊き出し訓練 11月実施

自主防災会から複数参加を依頼

協議事項（2）

26年度事業の予算要求内容の精査（平成25年9月末提出）

（ア） 要求積算の内容点検（業者見積も）

次回以降に点検する

（イ） 5小学校で実施の訓練

（瀬部 赤見 宿泊訓練 西成 西成東 浅野 半日訓練）

宿泊型防災訓練（避難所開設訓練）

実施日 平成26年6月7日（土）15時～8日（日）7時

校区 瀬部・赤見（校区状況で確定）

参加人員 250名（泊 150名）

瀬部14町内×10 140名 地域づくり協議会10名

赤見 7町内×20 140名 地域づくり協議会10名

内容 住民の避難訓練

避難所開設訓練（避難所開設支援訓練）

名簿班 食糧物資班 救護班等（運営マニュアルによる）

避難所資器材取扱い訓練・防災講座

（それぞれ訓練実施細目あり）

半日避難訓練

実施日 平成26年 月 日（土曜日又は日曜日）

午前8時（9時）から10時30分（11時30分）

校区 西成 西成東 浅野

参加人員 250名

西成 12町内×20名 地域づくり協10名

西成東 9町内×26名 同上

浅野 13町内×18名 同上

内容 住民の避難訓練

避難所開設訓練（避難所開設支援訓練）

名簿班 食糧物資班 救護班等（運営マニュアルによる）

避難所資器材取扱い訓練・防災講座

（それぞれ訓練実施細目あり）

（ウ） 訓練開催月日 今後検討

瀬部

赤見

西成

西成東

浅野

次回開催： 未定（安心安全部会2月開催 役員会開催後予定）

“スマート”提案事業推進委員会（第2回）まとめ

1：日時 平成25年1月23日（水）午後7時から8時30分

2：ところ 西成公民館 2階和室

3：メンバー 信安紀彦（西成） 寺澤市彦（浅野） 松本晃典（赤見）
吉田尚明（西成） 前田敏勝（瀬部） 熊崎 仁（西成）
鵜飼一雄（西成） 玉腰嘉行（西成） 熊澤良嗣（瀬部）
= 出席

4：協議事項

スマート提案事業への協力要請のため12/18日に小中学校を訪問した際に学校側から出された意見の検討、その他

小学校低学年の子供たちのため、スマートのパンフレットの漢字にフリガナを付けてもらえないか

*印刷屋にどこまで可能か打診してみる

宣言文は親が書くのか子どもが書くのか。学校で扱う以上、子どもの立場からの宣言文にするのが適切と考えるが

*宣言文の利用の仕方をどう考えるかによって議論が分かれる。柔軟に対応できるよう、学校へは宣言文記入用紙を各生徒2枚配布する。

*学校の教育方針によって対応は違うので、学校が望ましいと考えるやり方で指導していただくが、子どもが書いたものは校内で掲示するのが一番望ましい。その他、協議会が宣言文を借用して利用すること（町内運動会での掲出など）も検討する。

*例年学校は夏休み前に交通安全指導を実施するので、そのタイミングに間に合うよう、7月にはステッカーなどすべての資材を届ける。

*西中では2/18の健全育成委員会でも再度本会の役員から説明する。

ステッカー、宣言文記入用紙

- ・ステッカー文言は「西成連区 スマートドライバー」とする。
- ・ステッカーと宣言文記入用紙は当初計画枚数より増やす必要がある。
- ・「一宮警察署後援」を記載する許可を早急に得る。

町会長協議会などへの説明

- ・協議会での主管となる健全育成部会、広報部会にしっかりと説明する。
- ・3/12の24年度総会および新旧校区長会で説明と協力要請をする。
- ・4月には25年度の町会長に対して地域づくり協議会についての説明会をおこなうので、この場において具体的に説明をおこない協力を要請する。

次回開催： 3月8日（金）19時

“美化”提案事業推進委員会（第2回）まとめ

1：日時 平成25年1月30日（月）午後2時から3時

2：場所 西成公民館1階 小会議室

3：メンバー 磯貝久男(赤見) 関戸進 (西成) 若山豊 (浅野)
原幹博 (瀬部) 大平武輝(瀬部) 杉村所長(事務局)
熊澤良嗣(瀬部) 信安紀彦(西成) 江口英機(浅野)

4：提案事業(26年度実施)の概要

安心・安全で「絆」のある快適な地域づくり事業

(1)にしなり ビューティフル ウィンドウズ運動推進事業

～美しいまちは「犯罪抑止効果」も～

通学路及びその周辺をクリーンでビューティフルな(季節の花々で彩られる美しい)まち空間を作るため、通学団の集合場所・通学路を対象に「花いっぱい運動」を展開して、きれいで安心安全な西成づくりを推進する。

また、見守りネットワーク事業の深化を図るために「独居老人世帯等」を把握して、花苗(花種)などを配布してこの運動への協力・参加を促す。

経費積算基礎 総額 1,200,000円

事業費 (1)通学団集合場所等適地にプランタ ― に四季の花を植え、水やり、見守り活動

プランター@300×380個=114,000円

培養土等 @700×380個=266,000円

通学団190×2

花苗 @100×3本×3回×380個=342,000円

運搬謝礼 5地域×@10,000=50,000円

(2)通学路周辺等の空地など適地にひまわり・コスモス等季節の花々の種をまく(独居老人世帯周辺も)

花の種(苗)@100×3×1,300袋=390,000円

(独居世帯700+5校区×120)

小計 1,162,000円

事務費 38,000円

5：協議内容

26年度実施の提案事業計画の推進策

提出した事業計画案をその効果的な事業展開のために考慮すべき点

- ・まず、25年度に入ったら事業展開する適地の調査を関係団体をお願いする。
- ・関係団体に事業の啓発活動とともに協力要請をする。(地域づくり協議会の他の

事業とともに重複する場合には一括して説明することが必要)

- ・関係団体としては、町会長協議会、老人クラブ連合会、民生児童委員協議会、5小学校PTA、児童育成協議会(子ども会)、各小学校の見守り隊などである。

予算要求積算内容の点検(事業内容・相見積をふくめ積算内容)

平成26年9月末日市に提出

推進委員会の中心課題

- ・次回以降(平成25年4月以降の推進委員会)にて専門家のアドバイスを求め26年度事業実施が効果的にできる素案を作成して、提出予算計画案を検討。
- ・その前に 通学路周辺の適地 協力者等の調査・把握が肝要
- ・25年度の関係団体(5小学校PTA、見守り隊、子ども会)に、この事業の啓発活動とともに事業展開の適地などの調査をお願いし、26年度に引き継げるようにする。

以下重複する部分もありますが以下留意事項を列挙

26年度事業展開のうえでの留意事項

- ア 通学路に花をどのように展開するのか(集中か連続性を持たせるのか)
適地があるかどうかにかかっており、まず実態把握が先決。
関係団体にその調査をお願いする一方で、メンバーも関係校区の通学路の実態をみてる。
- イ 各小学校区ごとに通学路等でこの運動を展開するにふさわしい適地の調査
各小学校の通学路を参考に事業展開にふさわしい適地(未耕作地等)の調査を行う。その際には関係団体の協力をお願いする。
PTA・見守り隊など小学校を中心に地域の子どもの協力をえて進める。
どこか重点を絞ってやるのが効果的ではないか。協力が得られるならば小学校関係を中心に展開することが効果的な事業展開になるのではないか。
- ウ この運動の中心をどこに置くか(どのような団体に働きかけるか)
通学路の花いっぱい運動は前述したPTA、見守り隊、子ども会であるが、各校区の状況に合わせて対応していくことが肝要。
独居老人世帯への働きかけは
見守りネットワーク推進委員会のデータ(24年度)では、700世帯以上の独居老人世帯があり、今後さらに増加。町内会(町会長)・老人クラブ・民生委員・児童委員の協力が必要。
花の種をまく適地の有無を考えると、ポットに花の苗がいいのではないか。
搬送方法も工夫する必要あり。
花の苗の配布がうまく行くかどうか要検討、(花の種も一方策)。
- エ その他この提案事業の留意すべき事項は
プランターに運動の趣旨等を明示する張り付けなどが必要ではないか。

適地は、夏場等の水やりが必要でありそのことも考慮が必要。

春・秋・夏（夏・秋・冬）の3回植え替えるとして、どのような花が適切か十分検討を加えること。できるだけ強い種類の花苗にする。

プランターが事業終了後も活用してもらえるといいが、耐用年限経過後に不燃ごみとして放置されないように配慮が必要。27年度以降は、お世話頂いた方に適切な管理をお願いします。

通学路周辺の休耕地があつて土地所有者の協力いただければ、集中的に花種をまいて事業展開する。

予算の組み立て（業者見積）は、プランターに腐葉土等と花の苗植え、それに関係者への配布を含めたものとする。2回目、3回目も花の苗を配布してもらう。

（町内会単位で、55か所ぐらいか）

次回開催： 未定

“ぐるりん”提案事業推進委員会（第2回）まとめ

1：日時 平成25年2月6日（水）午後7時から8時30分

2：ところ 西成公民館 2階大会議室

3：メンバー 熊澤良嗣（瀬部） 江口英機（浅野） 松浦光三（赤見）
吉田光良（赤見） 櫻井征夫（西成） 山田 栄（赤見）
原 誠完（瀬部） 原 繁雄（瀬部） 小島辰男（西成）
増田卓史（西成） 本地宗治（浅野） 岸 正男（浅野）
= 出席

4：配付資料

委員一覧、基本地図見本、西成連区大字小字名一覧、地図上に掲載する内容候補一覧
内容候補は1月末までに4校区の有識者（各2名）から推薦があったもの

5：協議事項

今回が有識者を加えた初の会議になるので、委員一覧にもとづきまず自己紹介をおこなった。次に配付資料について、とりまとめに当たった熊澤会長から経緯と内容の説明をおこなった。説明の過程ではインターネットに接続したパソコンとプロジェクターも利用した。

以下に協議の内容と今後の対応などを示す。

地図が細かすぎる。もっと簡便なものにできないか。

今回提示している基本地図は市から無償で提供を受けているが、地図にはすべて著作権があり有料である。希望のものを作ろうとすれば自分たちで地図を描かなければならないが、これは非常に難しい。

ぎりぎり西成連区だけに絞ったもう少し大きい地図が作れないか、地図データの加工を依頼している印刷業者に確認してみる。

候補一覧表のチェック

現存しないもの、現地に行っても全く目で確認できないものなどの洗い出しをおこなった。これらは削除する方向で考える。

災害時の避難場所

完成する地図には災害時に避難する場所の参考になる要素も入れたい。そのため市が想定している避難場所は学校であることをネット（一宮市のホームページ）上で確認した。

各地区の公民館も（ランドマークとして）掲載したらどうか。

まず校区ごとに公民館（公民館名と所在地）のリストアップをおこなうこととしこれらを掲載内容候補一覧表に追加する。

西成連区の成立過程が分かる記録を地図の裏面に掲載する。

次回開催： 3月11日（金）19時

次回からは江口副会長がリーダーを担当